

## 外国語活動 学習指導案

学校名 海田町立海田南小学校  
 授業者 HRT 宇多 弘典  
 JALT 鈴木 めぐみ

- 1 日 時 平成 31 年 1 月 25 日 (金) 第 5 校時
- 2 学 年 第 6 学年 3 組 男子 19 名 女子 13 名 計 32 名
- 3 単元名 「What do you want to be? (職業, 将来の夢)」
- 4 単元について

- 本単元は、将来の夢が題材である。職業を表す英単語や「What do you want to be?」, 「I want to be a ~.」の表現を用いて、どのような職業に就きたいかを尋ねたり答えたりして、積極的に自分の将来の夢について交流する活動を行う。そして本単元の最後には、各児童が将来どのような職業に就きたいかを発表する「夢宣言」という活動を設定している。
- 本学級の児童は、様々なコミュニケーション活動を通して英語の表現に慣れ親しんできた。「自己紹介」・「夏休みの思い出」・「自分たちの町・地域」等の単元では、英語を使ってコミュニケーションすることの楽しさや、日頃あまり話をしない友達と関わることの楽しさを味わった。図画工作科の学習では、12年後の自分をイメージし、将来就きたい職業の姿を制作した。また、卒業文集で将来の自分の様子を思い描きながら文章化しているところである。これらの学習を通して、児童は自らの将来について考え、自分の就きたい職業について具体的に考えをもてるようになってきている。しかし、友達同士で自分の将来の夢について語り合うことはなく、友達の就きたい職業は知っていても、その理由については知らない児童が多い。その他、児童の意識を問うアンケートは、次のとおりである。

・外国語活動の授業は楽しいですか。	楽しい。 28/32 人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チャンスをしたり, ゲームをしたりして楽しく覚えられるから。</li> <li>・友達と会話できるから。</li> <li>・テーマを決めているので楽しみながらできるから。</li> <li>・英語を書いていると外国人になっているみたいだから。</li> <li>・今まで自分が知らなかったことに気付かせてくれるから。(文化の違い)</li> </ul>
	楽しくない。 4/32 人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語の意味が分からないから。</li> <li>・苦手で覚えられないから。</li> <li>・前に出て発表しないといけないから。</li> </ul>
・学んだことを使おうとしていますか。	使おうとしている。 24/32 人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・習ったことを使いたいから。</li> <li>・家で使うと家族が喜んでくれるから。</li> <li>・外国人とチャンスがあれば会話してみたいから。</li> <li>・自然と口ずさんでいるから。</li> <li>・平和学習や修学旅行で外国人に会った時, 使ったから。</li> </ul>
	使おうとしていない。 8/32 人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使える場が無いから。</li> <li>・恥ずかしいから。</li> </ul>
・自信をもって話せるようになりたいですか。	なりたい。 31/32 人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人とコミュニケーションがとれるから。</li> <li>・発表のとき堂々としていたいから。</li> <li>・これから生きていくのに必要だから。</li> <li>・外国人と友達になりたいから。</li> <li>・外国に住みたいから。</li> <li>・これからのグローバル社会に向けて必要だから。</li> <li>・将来外国人が沢山やって来るので使えるようになりたいから。</li> <li>・タップダンスの本場・アメリカで行かせるから。</li> </ul>
	ならなくてもよい。 1/32 人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人と話をすると緊張するから。</li> </ul>

○ 指導に当たっては、「将来の夢やその理由を英語で言えるようにして、保護者に伝える。」というゴールを明確にして、職業を表す英単語や「What do you want to be?」, 「I want to be a ～.」, 「Because ～.」の表現に慣れ親しませるため、繰り返し聞いたり話したり理由を説明したりする活動を多く取り入れ、児童が自信をもって「夢宣言」ができるようにしていく。第1時では、自分が紹介したい夢の表し方を確かめた上で、職業を表す英単語や「I want to be ～.」の表現に慣れ親しむ活動をしていく。その際、ミッシングゲームやキーワードゲーム、聞き取りクイズを行い、職業の英語表現を使って会話をすることができるようにしていく。第2時では、夢宣言に向けて「I want to be a ～.」だけでなく、その理由を知らせる表現を付け足して発表内容の工夫を考える活動をしていく。「Because ～.」の表現を用いて、ペアやグループでのコミュニケーション活動を通して、互いの夢を紹介し合う活動を行っていく。第3時は、世界の子ども達が自分の夢について話している様子を聞き、自分が将来就きたい職業やその理由について、世界の子ども達がスピーチした自分の夢を参考にしながらスピーチ原稿を作成していく。その際、児童が原稿を作成しやすいように、主に例文や理由を表すワードリストを準備しておく。また、話す速さ・強弱(伝えたい部分を強く・ゆっくり言う)やジェスチャーを取り入れて伝え方の工夫もしていく。第4時は、グループでスピーチをすることで、お互いがアドバイスをし合い夢宣言の原稿をよりよい英語表現にしていく。第5時は、児童全員が「夢宣言」をしていく。その際、聞き手の意欲を高めるために一人一人の発表をワークシートにチェックさせ、友達の就きたい職業やその理由についても知る活動に取り組みせたい。発表者を励ますような英語表現を活用させて、発表会が温かいものになるようにしていく。

## 5 単元の目標

○ 積極的に自分の将来の夢について交流しようとする。

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

○ 職業を表す語や、どのような職業に就きたいかを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。

【外国語への慣れ親しみ】

○ 様々な夢を持つ同年代の友だちがいることを知り、英語と日本語での職業を表す言い方の違いを学習する活動を通して、言葉の面白さに気付く。

【言語や文化に関する気付き】

## 6 単元の評価基準

○ 相手意識をもち、ジェスチャー等を加えた表現で自分の将来の夢について積極的に尋ねたり答えたりしている。

○ 様々な職業を表す英単語や、就きたい職業を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しんでいる。

○ 様々な夢を持つ同年代の子どもがいることを知り、英語と日本語での職業を表す言い方の違いを学習する活動を通して、言葉の面白さに気付いている。

## 7 主な使用表現

・What do you want to be? I want to be a～. Why? Because～. I like～. I can～. That's good. Good luck. future,

- ・職業 ( astronaut, cook, nurse, pilot, singer, flight attendant, vet, zoo keeper, comedian, baker, dentist, artist, farmer, bus driver など)

## 8 単元計画 (5時間)

時	目標と主な活動	評 価				
		コ	慣	気	評 価 規 準	評価方法
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 職業の言い方や尋ね方に慣れ親しむ。</li> <li>・職業のミッシングゲーム, キーワードゲーム 職業の言い方を知り練習する。</li> <li>・What do you want to be? I want to be a ~.</li> <li>職業の尋ね方を練習する。</li> <li>・就きたい職業を尋ねたり答えたりする。</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>【本時】</b></p>		○		・就きたい職業について, 尋ねたり答えたりしている。	行動観察 振り返り カード分析
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 就きたい職業の理由について, 尋ねたり答えたりする。</li> <li>・What do you want to be? I want to be a ~.</li> <li>Why? Because ~.</li> <li>・就きたい職業についての理由の言い方を知り 練習する。</li> <li>・ペアやグループで互いの夢の理由を紹介し合 う。</li> </ul>		○		・就きたい職業の理由について, 尋ねたり答えたりしている。	行動観察 ワークシート 振り返り カード分析
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 世界の子ども達の夢について聞き, 夢宣言の原稿を考える。</li> <li>・世界の子供たちの夢を知る。</li> <li>・教師による発表のモデルを見る。</li> <li>・夢宣言の基本の文例を読む。</li> <li>・夢宣言の原稿を書く。</li> </ul>		○	○	・世界の子ども達の夢と自分達の夢の共通点や相違点に気付いている。 ・表現を工夫して原稿を書いている。	行動観察 夢宣言原稿 振り返り カード分析
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ お互いがアドバイスをし合い, 夢宣言の原稿をよりよい英語表現にする。</li> <li>・グループで発表練習をする。</li> <li>・アドバイスを基によりよい表現にしていく。</li> </ul>	○			・積極的にアドバイスをしている。 ・よりよい表現にしている。	行動観察 振り返り 夢宣言原稿 カード分析
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ジェスチャーや話す速さ・強弱(伝えたい部分を強く・ゆっくり言う)を取り入れて, 相手に伝わるように「夢宣言」を行っている。</li> </ul>	○			・相手に自分の思いを伝わるように「夢宣言」をしている。	行動観察 振り返り カード分

	<ul style="list-style-type: none"> <li>相手に伝わるように「夢宣言」をする。</li> <li>発表を聞いて友達の就きたい職業を知る。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>友達の発表を聞き、よりよい発表の仕方を学んでいる。</li> </ul>	析
--	---------------------------------------------------------------------------------------------------	--	--	--	-----------------------------------------------------------------------------	---

9 本時の学習

(1) 本時の目標

職業の英単語の言い方や就きたい職業の尋ね方，答え方に慣れ親しむ。

(2) 本時の評価基準

職業についての英語表現に慣れ親しんでいる。

(3) 主な使用表現

teacher, soccer player, doctor, artist, zookeeper, fire fighter, dentist, baseball player

What do you want to be?

I want to be a ～.

(4) 準備物

絵カード (職業), 職業チェックカード

(5) 本時の学習展開

過程	学習活動	指導上の留意事項 (◇) ◆「努力を要する」状況と判断した 児童への指導の手立て ★めざす子どもの姿	評価基準 [評価方法]
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>○挨拶をする。</li> <li>○スモールトークを聞く。 T1: What do you want to be? T2: I want to be a teacher. T1: Oh, good! Why? T2: Because I like children. I want to study and play with children. I want to be an elementary school teacher. T1: Nice dream. Good luck! T2: Thank you. How about you? T1: I want to be ….</li> <li>○単元のゴール知る。 (参観日)open day at school (発表)speech (宣言)Speech on your dream</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇短く挨拶をかわす。</li> <li>◇夢宣言のモデルとして指導者によるスモールトークを聞く。</li> <li>◇I am twelve years old. や I am 6th Grader. の表現を使って指導者の子どもの頃の夢を伝える。</li> <li>◇小学校生活最後の参観日で「夢宣言」をすることを知らせることで，単元で学習する内容のイメージをつかませるとともに意欲を喚起する。</li> </ul>	
展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本時のめあてを知る。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">           職業の言い方や尋ね方，答え方に慣れ親しもう。         </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○いろいろな職業の言い方を知る。 ・ジェスチャーやスリーヒントクイ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇学習する職業が全部出た後で全員に繰り返して職業名を言わせ，慣れ親</li> </ul>	

ズ、提示した英単語をヒントに職業を当てていく。

T1: What do you want to be?

S: 農夫 (Answer in Japanese.)

T1: Good job. How do you say in English?

T2: farmer. Repeat after me.

S: farmer.

○絵カードを見ながら、職業の言い方を練習する。

T1: (Point the picture cards.)

T2: astronaut, cook, nurse, pilot, singer, flight attendant, vet, zoo keeper, comedian, baker, dentist, artist, farmer, bus driver

S: astronaut, ..... (Repeat after T2)

T1: Ok. Good job.

○絵カードを見て、スペルの共通しているところを見つけよう。

○ゲームをして英単語の発音を練習する。

・ミッシングゲーム・キーワードゲームをする。

(ミッシングゲーム)

T1: Close your eyes. Don't look. (Take a picture card.) Open your eyes.

T1: What's missing?

S: astronaut.

T1: OK. Good job.

T2: astronaut.

SS: astronaut.

(キーワードゲーム)

T1: Key word is dentist. Put an eraser between you and your partner. Put your hands on your head.

T2: dentist.

SS: dentist.

○自分の夢の言い方を知る。

○黒板に貼った文を見ながら、職業の尋ね方、答え方を表す英文の言い方をチャンツを取り入れて練習する。

What do you want to be?

I want to be a~.

○職業の尋ね方、答え方を表す英文を

しませる。

◆最初はゆっくり行い、慣れていない児童を支援する。

◇英語らしい発音を意識させながら、カードを提示して練習させる。

◇ T1 が絵カードを指さし、T2 が発音を示す。

◇ er. or. ist. その他の4つのグループに分ける。

◇意欲を高めるためのゲームをしながら、意図的に覚えにくい英単語の発音を練習して慣れ親しませる。

◇指導者がペアでゲームのデモンストラーションを行う。

◇指導者がペアでゲームのデモンストラーションを行う。

◇クラスの夢カードの中から自分の夢に線を引かせ意識させる。

◇指導者がペアで再度就きたい職業を尋ね合うモデルを行い、尋ね方と答え方を知らせる。

◇学習した全ての職業の言い方を練習させる

◆机間指導を行い、うまくやり取りができていない児童のそばに行き、

・就きたい職業を尋ねたり答えたりしている。【外国語

	<p>自分の夢とあわせて書く練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアで練習する。</li> </ul>	<p>言い方を教えるなどの支援を行う。</p>	<p>への慣れ親しみ】 [行動観察・振り返りカード点検]</p>
<p>★【めざす子どもの姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職業を表す単語の発音を意識しながら、様々な職業名を聞いたり言ったりしている。 <b>cook, soccer player, doctor, teacher, artist, florist</b></li> <li>・就きたい職業について尋ねたり答えたりする表現を言っている。 What do you want to be? I want to be a singer.</li> </ul>			
<p>まとめ</p>	<p>○ふり返りカードを記入し、本時の活動をふり返る。</p> <p>○挨拶をする。</p>	<p>◇なりたい職業を尋ねたり答えたりする表現が、既習の「want to ~」を使っていることなどをまとめ、児童が積極的に英語で言っていた姿などを評価する。</p>	

10 板書計画

<p>weather</p>	<p><b>Today's Goal</b> 職業の言い方や尋ね方、答え方に慣れ親しみ</p>					<p>What do you want to be?</p>															
<p>January</p>	<table border="1"> <tr> <td>baseball player</td> <td>nurse</td> <td>police officer</td> <td>vet</td> </tr> <tr> <td>illustrator</td> <td>doctor</td> <td>comedian</td> <td>dentist</td> </tr> <tr> <td>artist</td> <td>soccer player</td> <td>illustrator</td> <td>florist</td> </tr> <tr> <td>teacher</td> <td>cook</td> <td>singer</td> <td>zookeeper</td> </tr> </table>				baseball player	nurse	police officer	vet	illustrator	doctor	comedian	dentist	artist	soccer player	illustrator	florist	teacher	cook	singer	zookeeper	<p>I want to be a .</p>
baseball player	nurse	police officer	vet																		
illustrator	doctor	comedian	dentist																		
artist	soccer player	illustrator	florist																		
teacher	cook	singer	zookeeper																		
<p>25th</p>																					
<p>Friday</p>																					